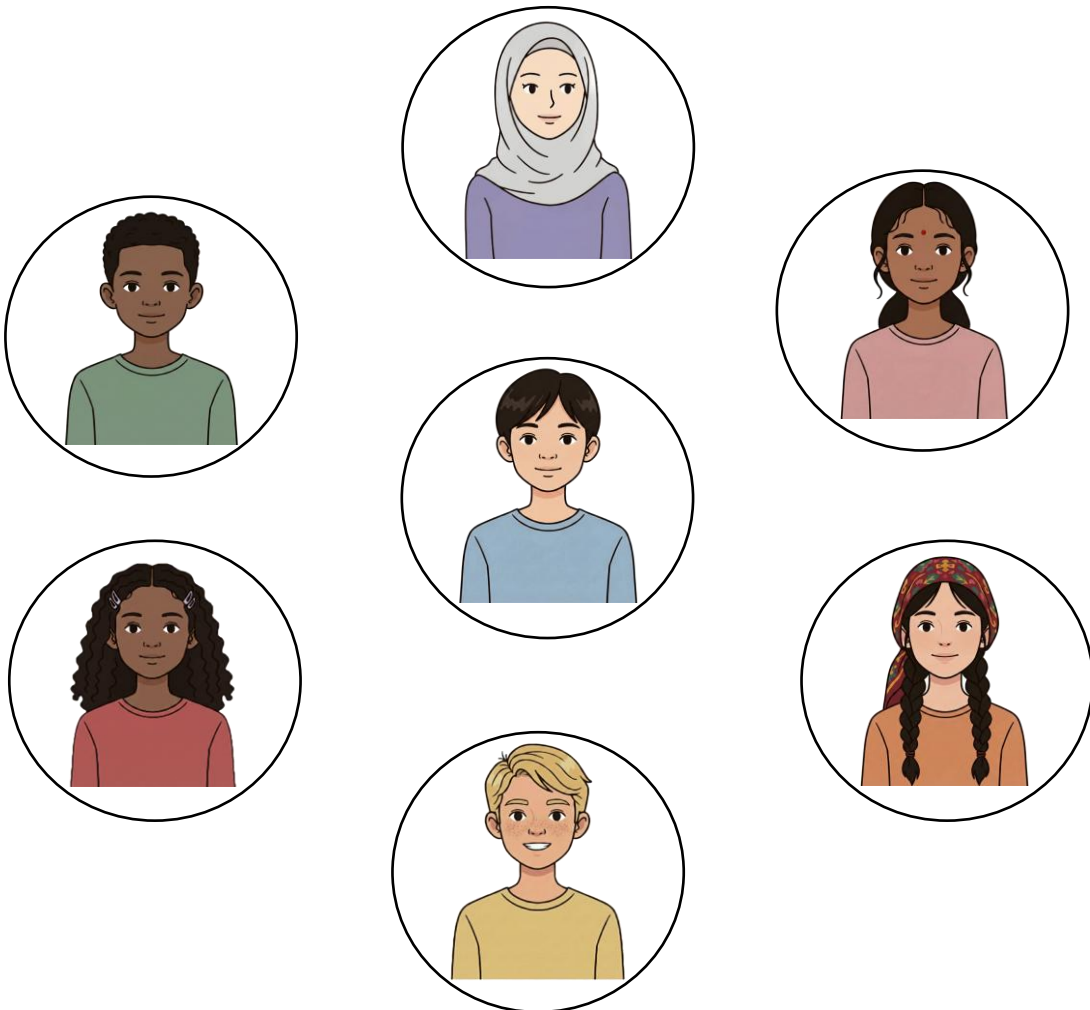


熊本県

外国人材受入環境向上のための 企業内研修テキスト



令和7年度制作

目 次

第1部 外国人材受け入れのために

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
2. 日本の文化的特徴理解・・・・・・・・・・ P.5
3. 異文化間コミュニケーション・・・・・・・・ P.7
4. 受け入れの準備・・・・・・・・・・・・・・ P.12
5. 定着のための施策・・・・・・・・・・・・・・ P.16

第2部 「やさしい日本語」の活用

1. 「やさしい日本語」とは・・・・・・・・・・ P.19
2. 「やさしい日本語」基本のルール・・・・・ P.21
3. 「やさしい日本語」のポイント（話す）・・・・・ P.22
4. 「やさしい日本語」のポイント（書く）・・・・・ P.27
5. 仕事におけるコミュニケーションの注意点・・・・・ P.31
6. おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.32

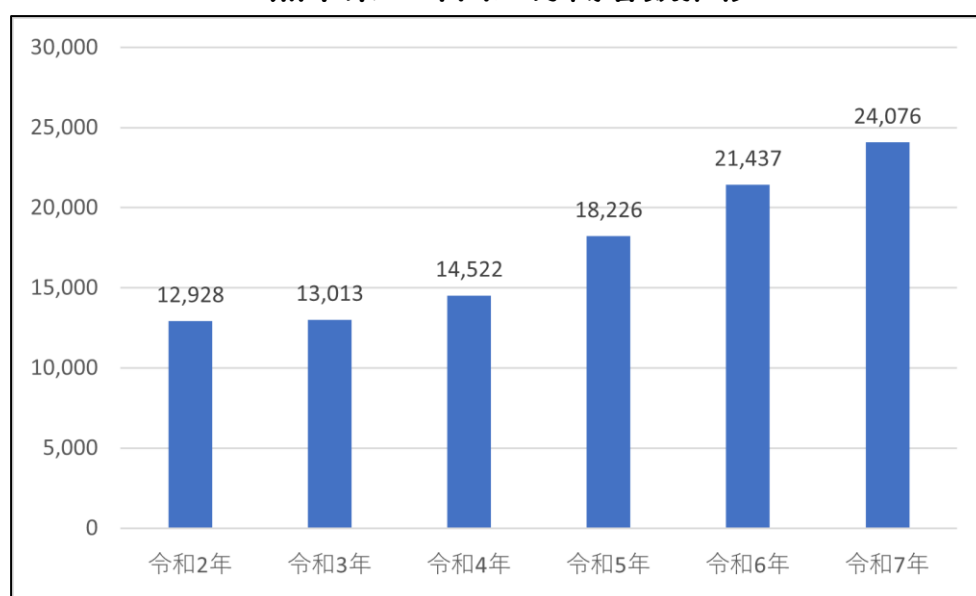
第Ⅰ部

外国人材受け入れのために

Ⅰ. はじめに

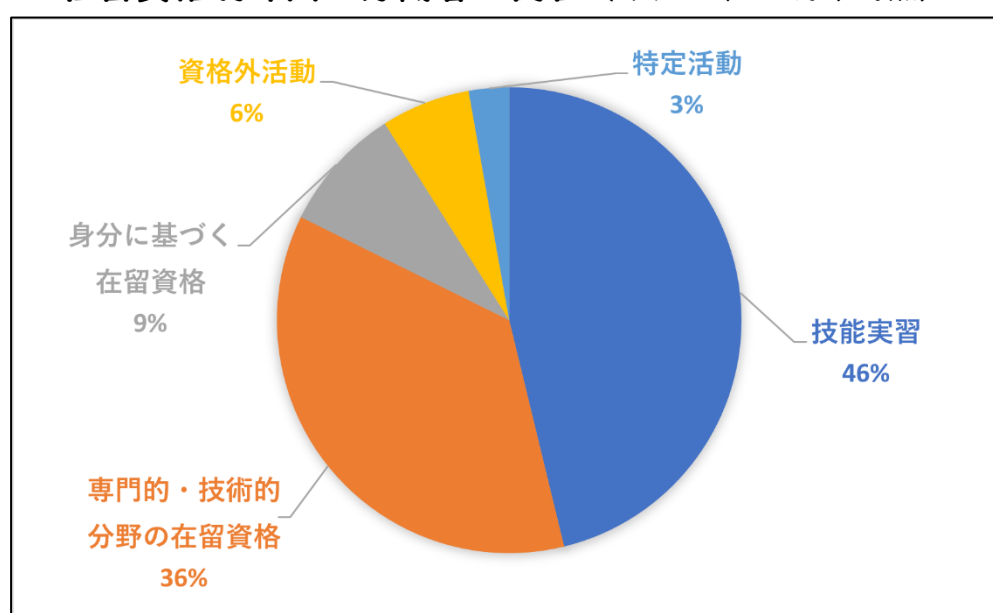
熊本県内の外国人労働者数は、令和 7 年 10 月末時点で 24,076 人と、平成 19 年に届出が義務化されて以降最も多い人数となりました。

＜熊本県＞外国人労働者数推移



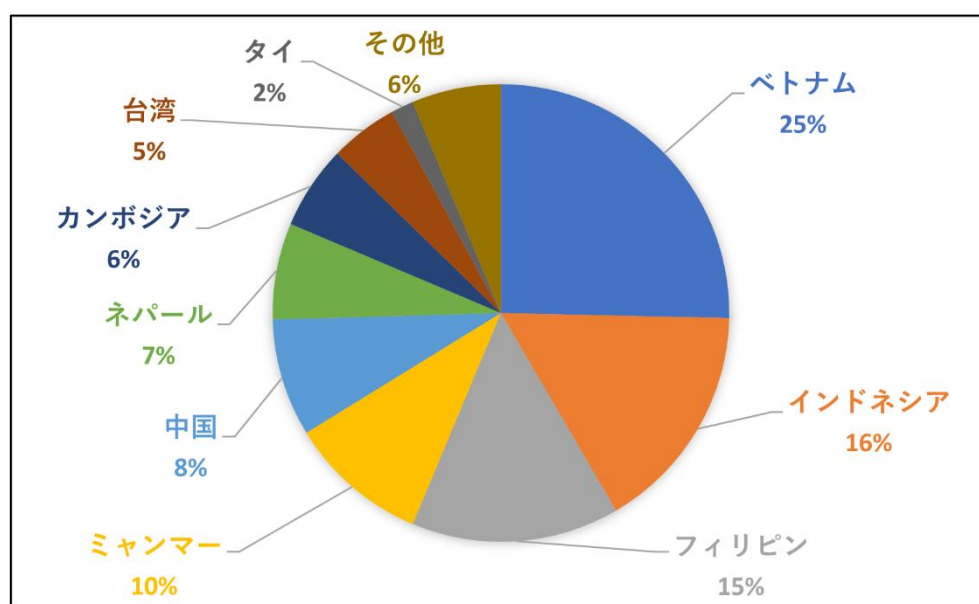
出典：「令和 7 年『外国人雇用状況』の届出状況集計結果」（熊本労働局）

在留資格別外国人労働者の割合（令和 7 年 10 月末時点）



出典：「令和 7 年『外国人雇用状況』の届出状況集計結果」（熊本労働局）

国籍別外国人労働者の割合（令和7年10月末時点）



出典：「令和7年『外国人雇用状況』の届出状況集計結果」（熊本労働局）

本県においても、少子高齢化による労働力不足が深刻化する中、今後も外国人労働者の受け入れが進むと見込まれています。外国人の受け入れや定着に際しては、労働環境、地域コミュニティ、文化の違い、コミュニケーションなど、様々な課題があります。

これらの課題を解決するためには、異文化理解や適切な受け入れ体制を整えること、そして、コミュニケーションが欠かせません。

本テキストでは、外国人との共生で必要となる「異文化間コミュニケーション」、「受け入れの準備」、「定着のための施策」、「やさしい日本語」について取り扱っています。また、やさしい日本語の実践練習のためのワークブックも付属しています。

日本人と外国人双方にとって働きやすい環境の実現を目指し、広くご活用いただければ幸いです。

2. 日本の文化的特徴理解

下記は、オランダの社会心理学者ホフステードが世界の文化を分析し、パターンが似ている国を6つにグループ化したものです。

日本はそのどこにも当てはまらず、7つ目のグループとして分類されました。

7つの文化パターン（文化圏）

文化圏		指標				主な国
		権力格差	個人主義	達成志向	不確実性回避	
1	競走	↓	↑	↑	↓	アメリカ/イギリス/アイルランド/オーストラリア/ニュージーランド/カナダ
		権力格差が小さく、不確実性や曖昧性に対して比較的寛容。個人主義が強く、目標達成や社会的成功を重視。				
2	ネットワーク	↓	↑	↓	→	デンマーク/ノルウェー/オランダ/スウェーデン/フィンランド
		権力格差が小さく、成功よりも大切な人との時間を重視。個人主義が強い。				
3	油の利いた機械	↓	↑	↑	↑	オーストリア/チェコ/ハンガリー/ドイツ/スイス（ドイツ系）
		権力格差が小さい。不確実性や曖昧性に対して寛容ではない。個人主義が高く、目標達成や社会的成功を重視。				
4	ピラミッド	↑	↓	→	↑	アラブ諸国/ブラジル/ギリシャ/イラク/イラン/韓国/ロシア/台湾/タイ
		権力格差が大きく、不確実性や曖昧性に対して寛容ではない。集団主義社会。				
5	太陽系	↑	↑	→	↑	ベルギー/フランス/北イタリア/スペイン/ポーランド/スイス（フランス系）
		権力格差が大きく、不確実性や曖昧性に対して寛容ではない。個人主義が強い。				
6	家族	↑	↓	→	→	中国/香港/インド/インドネシア/マレーシア/シンガポール/フィリピン/ベトナム
		権力格差が大きく、専門家や年上を敬う文化。集団主義社会。				
7	クラフトマン	→	→	↑	↑	日本
		目標達成や社会的成功を重視。不確実性や曖昧性に対して寛容ではない。				

↑ = 高い ↓ = 低い → = 平均的

出典：稲垣隆司（2024）『なぜ外国人に「ちゃんと」が伝わらないのか』三修社

日本の文化的特徴として、主に下記の点が挙げられます。

▶空気を読む力

日本社会では、言葉だけでなく、その場の雰囲気や、相手の表情、態度から真意を読み取り、適切に行動する力が重視されています。

▶ルール遵守の意識

「あなたの国では1か月のうちに何回遅刻を許せますか」という意識調査では、月4回の遅刻が許されるインドに対し、日本は月1回しか遅刻が許されないという結果になりました。このことから、日本はルール遵守に対する意識が非常に高いことがわかります。

各文化圏にはそれぞれ異なる傾向がありますが、そこに上下関係は存在しません。大切なことは、日本を含む各文化圏の特徴を理解し、異文化間でのコミュニケーションに活かすことです。

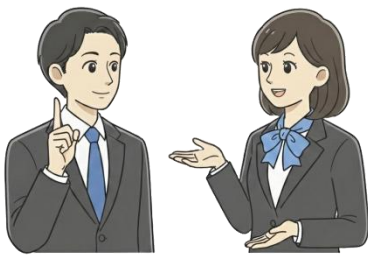
3. 異文化間コミュニケーション

ここでは、カルチャーマップを基に、異文化間コミュニケーションについて示します。カルチャーマップを用いることで、自国と他国の類似点や相違点を理解し、相手の文化に配慮したコミュニケーションやビジネスの進め方につなげることができます。

本テキストでは、次の4つの項目について取り上げます。

4つの項目

① コミュニケーション



② ネガティブな評価



③ 信頼



④ スケジューリング



日本人が全員同じではないように、カルチャーマップはあくまでも「国」としての特徴を示したものであり、その国の人が全員そうだというわけではありません。

カルチャーマップをステレオタイプと結びつけず、コミュニケーションや仕事を円滑に進めるための背景知識としてご活用ください。

①コミュニケーション

次のカルチャーマップは、コミュニケーションの際に「明確に伝えるか否か」の違いです。

日本は世界の中で最も「明確に伝えない」文化とされています。



東南アジア：

東南アジアの国々も明確に伝えない傾向がありますが、その度合いは日本より低いです。そのため、日本人同士でのコミュニケーションよりも明確さが必要となります。

❖ コミュニケーションの例 ❖

～伝わりにくい例～

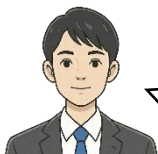


なるべく早めに終わらせてください。

「早めに」はいつまで？
明日？3日後？1週間後？



～伝わりやすい例～



今日の5時までに終わらせてください。

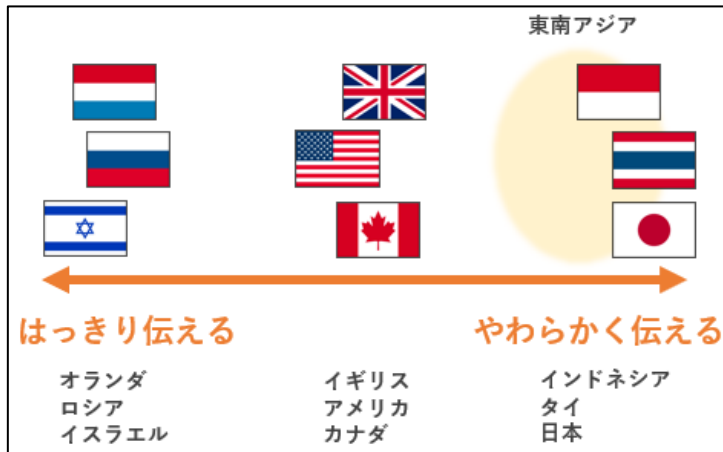
今日の5時までに
終わらせよう！



②ネガティブな評価

次のカルチャーマップは、ネガティブな評価の伝え方の違いです。

日本は「やわらかく伝える」傾向が強いです。



東南アジア：

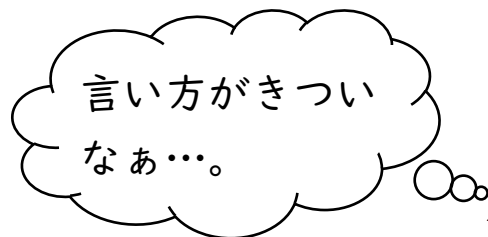
東南アジアの国々もネガティブな評価をやわらかく伝える傾向があります。そのため、やわらかく伝えつつも、明確さを意識して伝えることがポイントです。

❖コミュニケーションの例❖

～はっきり伝える例～



そんな案、だめですよ。
しっかり考えてください。



～やわらかく、曖昧に伝える例～



その案もいいですが、他の方法も考えてみましょう。



～やわらかく、明確に伝える例～



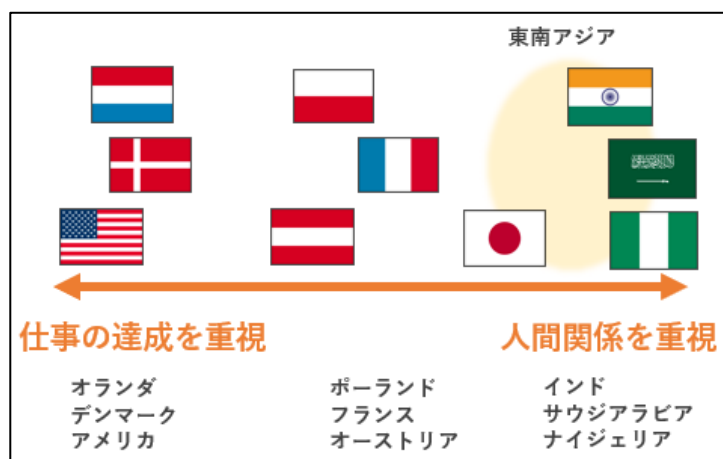
〇〇の方法でしてみたら
どうですか。



③信頼

次のカルチャーマップは、職場での信頼関係を築く際に、「仕事の達成」を重視するか、「人間関係」を重視するかの違いです。

日本は「人間関係を重視」する傾向があります。



東南アジア：

東南アジアの国々は日本よりも人間関係を重視する傾向があります。そのため、仕事以外の話と一緒にランチすることは信頼関係を深めるきっかけとなります。

◆コミュニケーションの例◆

～信頼を築きにくい例～



いつも時間内に仕事ができていて素晴らしいですね。

褒められるのは嬉しいけど、いつも仕事の話ばかり…。〇〇。



～信頼を築きやすい例～



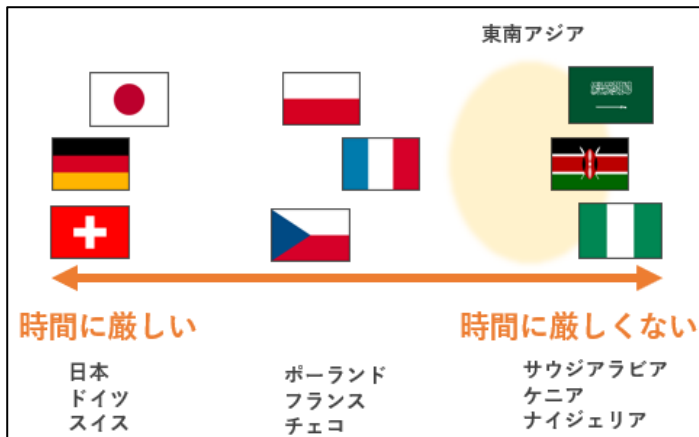
〇〇さんの国では、どうやって新年を過ごしますか。

仕事以外の話もできて楽しい！〇〇。



④スケジューリング

次のカルチャーマップは、時間を厳守してスケジュール通りに物事を進めるか、時間やスケジュールに柔軟に対応するかの違いです。
日本は「時間に厳しい」傾向があります。



東南アジア：

東南アジアの国々は日本と反対で、時間にあまり厳しくない傾向があります。そのため、仕事で時間の指示をする際は具体的に伝えることが大切になります。

❖コミュニケーションの例❖

～誤解をしやすい例～



会議は11時からなので、遅れないでくださいね。

11時ぴったりに会議室に行けばいいかな…。



～誤解をしにくい例～



会議は11時からなので、5分前には来てください。

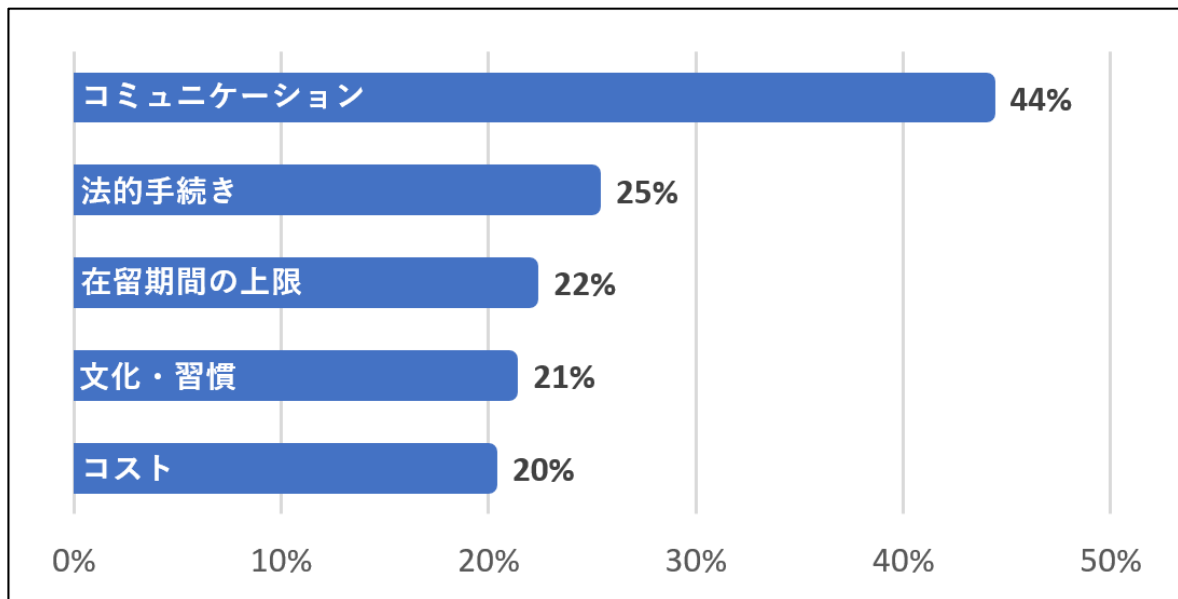
5分前に会議室に行こう！



4. 受け入れの準備

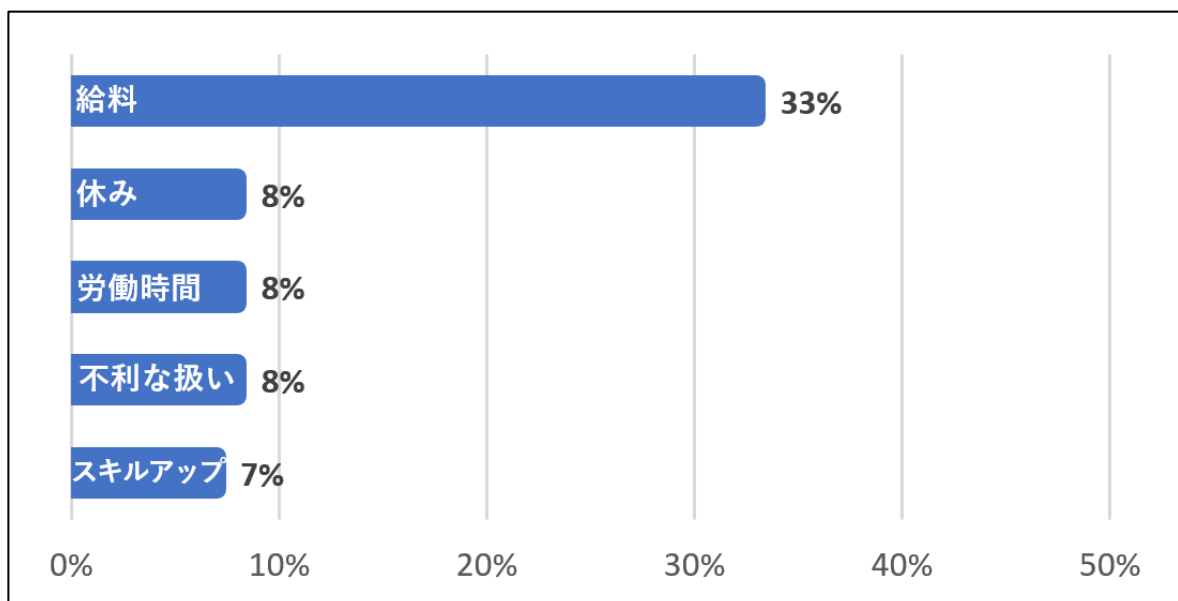
外国人の受入環境向上のための準備を進めるにあたり、まずは、下記のグラフで受け入れ側や外国人側の課題点について見てみましょう。

外国人労働者の雇用に関する課題（受け入れ側）



出典：「令和6年外国人雇用実態調査」（厚生労働省）

外国人労働者の仕事の困りごと（外国人側）

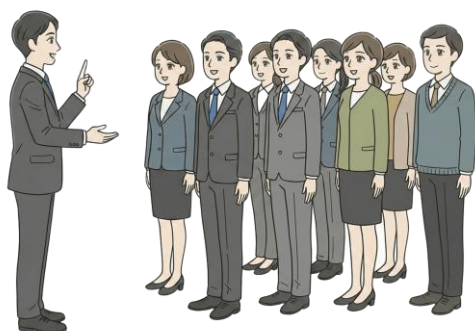


出典：「令和6年度在留外国人に対する基礎調査」（法務省）

次に、受け入れの準備として、「理解の促進」、「受け入れ態勢を整える」、「実際のサポート」の3つの観点からお伝えします。

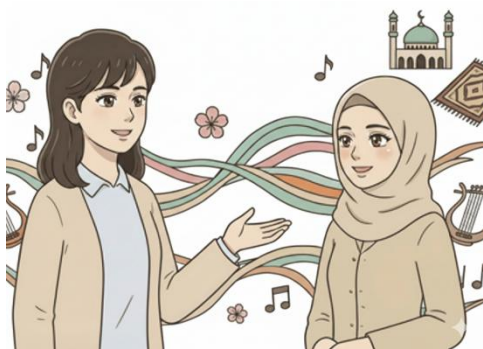
①理解の促進

▶受け入れについて周知する



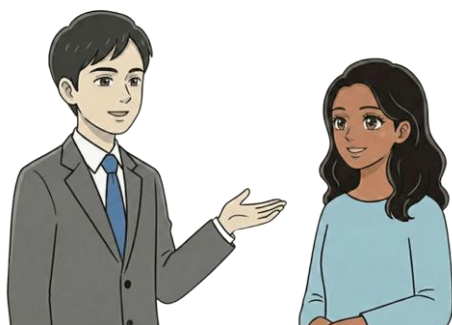
受け入れる外国人の国や文化背景について周知します。もし、否定的な社員がいる場合は、その目的や、起こり得る課題と対応策、さらに期待される効果を伝えることで、不安を軽減させます。

▶異文化理解を促進する



職員が事前にその国の歴史や宗教、文化を学び、理解をしておくことが重要です。現地に赴き、その国の文化や暮らしを体感することも効果的です。

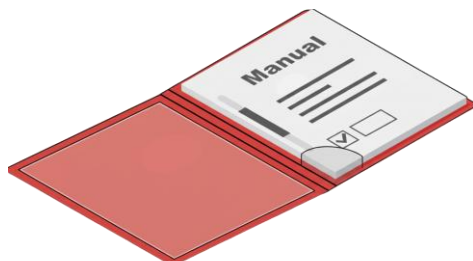
▶「やさしい日本語」を理解する



日本人と外国人の双方にとって働きやすい環境を整えるため、「やさしい日本語」について理解を深めます。さらに、実際の場面を想定し、「この指示はやさしい日本語でどう伝えるか」をイメージします。

②受け入れ態勢を整える

▶社内ルールを統一する・マニュアル化する



同じ作業内容でも、聞く相手によって手順や指示が異なると、外国人に混乱を招きます。このような事態を防ぐために、誰もが同じ指導を行えるようにルールを統一し、必要に応じてマニュアル化も行います。

▶やさしい日本語を使う・ふりがなをつける

たちいりきんし
立入禁止
(ここに入らないでください)



社内ルールや作業手順のマニュアルを理解しやすくするため、やさしい日本語に置き換えたり、ふりがなをつけたりすることが有効です。また、社内掲示や名札にふりがなをつけるなどの工夫も考えられます。

▶外国人の支援者（メンター）を定める



外国人が仕事だけでなく、生活面についても相談ができる支援者を配置します。これにより、外国人の業務や、生活面における負担を軽減することができます。

③実際のサポート

▶就労に関して説明する



- ・ 業務内容
- ・ 就業時間
- ・ 労働条件
- ・ 職場の規則
- ・ 賃金、社会保険

▶生活に関して説明する



「事前説明」

- ・ 住むエリアの気候や服装
- ・ 住居や周辺設備の案内
- ・ 持参したほうが良い物
- ・ 交通機関の利用方法、注意点
- ・ 金融機関、医療機関の利用方法
- ・ 入国時に必要な金額と用途

「ルールやマナー」

- ・ ゴミの分別ルール
- ・ 喫煙のルール
- ・ 早朝、深夜の騒音
- ・ 公共交通機関でのマナー
- ・ 自転車のルール
- ・ 110番、119番
- ・ 災害時の避難場所

5. 定着のための施策

無事に受け入れが完了したら、定着が次の課題となります。

定着促進のポイント

▶ キャリアアップの体制開示



日本で働く外国人の中にはキャリアアップを望む方もいます。そのため、昇進の基準が不明確だったり、研修制度が未整備の環境は転職に繋がりがやすいです。本人のキャリア志向を確認し、明確なキャリアパスを示すことが大切です。

▶ 日本語・専門知識学習の機会の提供



技術の向上やキャリアアップを目指すためには、更なる日本語力と専門知識が求められます。自社内研修や教育サービスの活用に加え、独学ができるアプリや教材の情報提供、日本語教室の紹介など様々な形で支援が可能です。

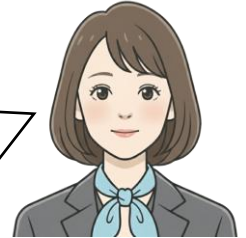
▶ 地域社会との交流



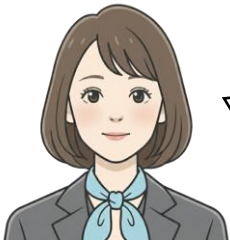
定着のためには、職場内だけでなく、日常生活の場である地域社会との繋がりも欠かせません。イベントなどに参加し、地域の人々と交流をすることで、不安や孤独感が軽減され、安心して生活できるようになります。

外国人受け入れ事務所の日本人スタッフが気をつけていること

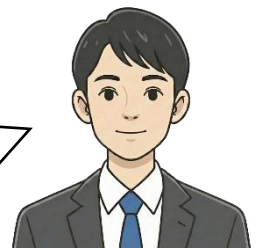
難しい日本語を使わず簡潔に話すことを心がけています。伝わっていないと思ったら、別の単語や言葉で言い換えたり、ジェスチャーを交えたりして話します。また、仕事が早くなったことなど、良いことはすぐに伝えるようにしています。



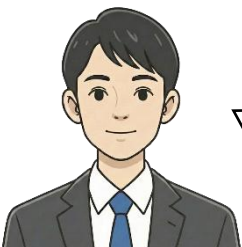
休憩時間に机を囲んでコミュニケーションをとるようにしています。勤務中でも自然な声掛けができるような関係性を作ること、全員がストレスなく楽しく勤務できるような環境ができています。その成果もあり、日本人や外国人材に関わらず全員が同等の業務ができるような体制も整いました。



やさしく言い換えた言葉で会話をする、単語での会話を心がける、伝えたいことをわかりやすくする、短く区切った文にするなど、会話の中では常に伝わりやすくする工夫をしています。



ミャンマーの方を受け入れています。焦った指導をせず、単語でわかりやすく伝えるようにしています。また、ミャンマーの文化では叱られることに慣れていないと知り、注意の仕方に気を付けています。



第2部

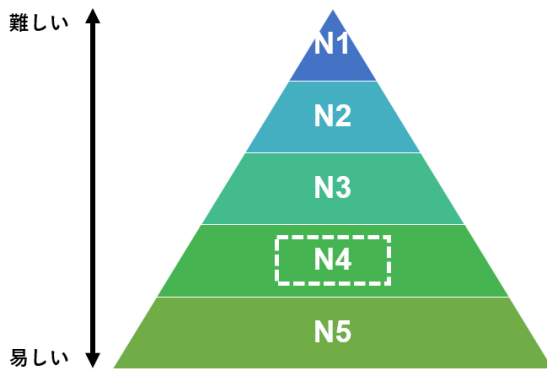
「やさしい日本語」の活用

1. 「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは？

難しい言葉や表現、文章の長さに配慮をして、わかりやすくした日本語のことです。

「優しい」と「易しい」両方の意味を込めてひらがなで表記されています。



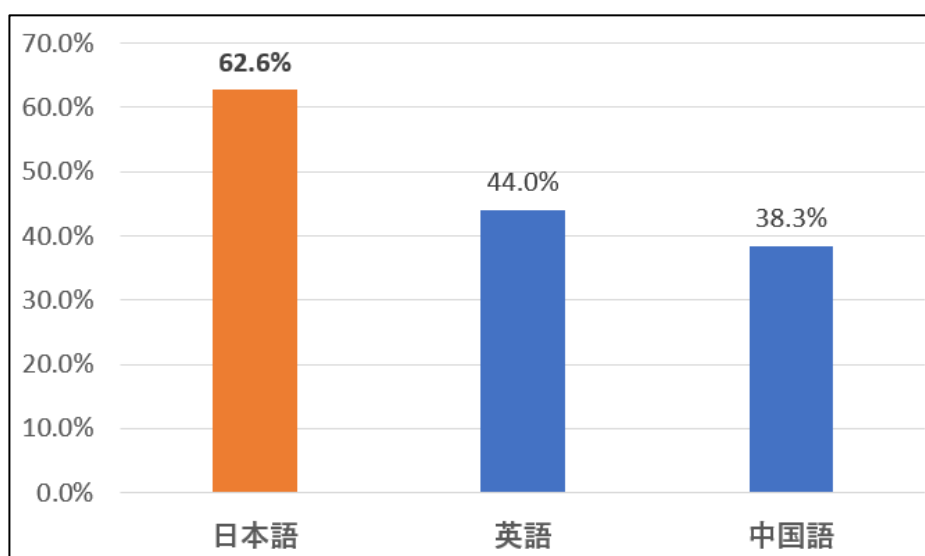
「やさしい日本語」は「日本語能力試験（JLPT）」の初級レベルである N4 程度の表現や言葉を使用しています。

「やさしい日本語」のはじまりは平成7年に発生した阪神・淡路大震災です。阪神・淡路大震災が起きたとき、緊急速報や避難指示は通常の日本語に加えて英語で伝えられました。しかし、通常の日本語も英語も理解できず、必要な情報を受け取ることができなかった外国人が多くいました。

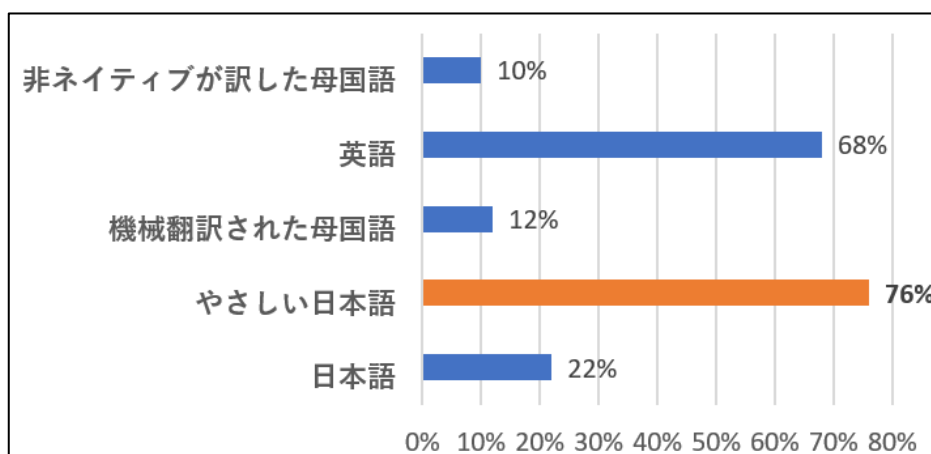
このことから、外国人に必要な情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために「やさしい日本語」が考え出されました。災害をきっかけに生み出された考えですが、今では行政からの情報発信、医療、福祉、教育現場など、日々の生活におけるコミュニケーションでも活用されています。

下記は令和 2 年に文化庁が日本に住んでいる外国人に対して行ったアンケート調査の結果です。「日常生活に困らない言語」として「日本語」と回答した人は 63%、そして、発信される情報を「やさしい日本語」で受け取ることを希望する人は 76%と最も多い結果となりました。

外国人が日常生活に困らない言語



外国人が希望する情報発信言語



出典：出入国在留管理庁、文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」（令和 2 年度）

この調査から、外国人とコミュニケーションをとる際には「やさしい日本語」が有用であることがわかります。

2. 「やさしい日本語」基本のルール

はさみの法則

- ・ はっきり言う
- ・ さいごまで言う
- ・ みじかく言う

はさみの法則でやさしい日本語を作る例を見てみましょう。

場面：コンビニの出入り口で外国人が集まって話している。

お客様、申し訳ありませんがこちらは出入り口でして…
お話し中のところ大変恐縮ですが、
他のお客様が出入りできなくなってしまうため、
他のスペースに移動していただきたく、
ご協力宜しくお願い致します。



お客様、申し訳ありませんがこちらは出入り口**です**。
~~お話し中のところ大変恐縮ですが、~~
他のお客様が出入りできなくなってしまう**います**。
他のスペースに移動**してください**。
~~ご協力宜しくお願い致します。~~

最後まで言う

短く区切る

はっきりと言う

上記のように、一文を短くしつつ、文章全体もなるべく短くするために、遠回しな表現や不要な情報は削ります。

3. 「やさしい日本語」のポイント（話す）

はさみの法則を大前提として、やさしい日本語のための言葉の選び方や、表現の方法にもポイントがあります。「やさしい日本語」の研究者である佐藤和之氏は、やさしい日本語の文章を作成する際の作り方や注意点を下記の通り提示しています。



1. 難しい言葉を避け、できるだけ簡単な言葉を使う。
2. 一文を短くし、文の構造を簡単にする。
3. あいまいな表現を避ける。
4. 二重否定の表現を避ける。
5. 文末の表現をなるべく統一する。

①難しい言葉を避け、できるだけ簡単な言葉を使う。

やさしい日本語は「日本語能力試験（JLPT）」の初級レベルであるN4を基準としているため、難しい言葉は易しい言葉に言い換えます。

◆漢語の例◆

初級レベルの外国人にとって漢語は難しい言葉が多いため、できるだけ和語に言い換えます。

通常の日本語	やさしい日本語
正確に	正しく
昨晚	昨日の夜
避難する	逃げる

◆カタカナ語の例◆

発音が日本語のアクセントになっているため、伝わりにくいです。

通常の日本語	やさしい日本語
スケジュール	予定
エントランス	入口
アポイント	約束

※バス、ガス、テレビ、エアコンなど、カタカナ語以外では表現が難しい言葉は、そのまま使用することができます。

◆オノマトペの例◆

オノマトペ（擬態語や擬音語）は感覚的なニュアンスが多いため、外国人にとって理解しにくい言葉が多いです。

通常の日本語	やさしい日本語
雨が <u>ざあ</u> <u>ざあ</u> 降っている	雨がたくさん降っている
朝から <u>ばた</u> <u>ばた</u> している	朝から忙しい
床を <u>ぴか</u> <u>ぴか</u> にする	床をきれいにする

◆慣用句の例◆

慣用句は、昔から使われてきた物事を例える言い方ですが、外国人にとっては理解が難しいため、使用を避けます。

通常の日本語	やさしい日本語
目を通す	読む・見る
手が空く	忙しくない
手を貸す	手伝う

②一文を短くし、文の構造を簡単にする。

一文を短くして伝えます。前置きや遠回しな表現は使わず、シンプルに要点だけを伝えることが大切です。長い文章は一文ずつ区切って「一文に一つのメッセージ」にします。

通常の日本語	ごみの分別をきちんとし、燃えるごみは、月曜日と木曜日に出すようにしてください。
やさしい日本語	ごみをわけて出してください。 燃えるごみは、月曜日と木曜日に出してください。

③あいまいな表現を避ける。

「おそらく」、「たぶん」などの曖昧な表現は誤解を生みます。また、「～ぐらい」、「～ごろ」、「なるべく早め」など、人によって解釈が異なる表現や、「いいです」、「大丈夫です」のように Yes と No の両方の意味を持つ表現にも注意が必要です。

通常の日本語	やさしい日本語
それは <u>たぶん</u> 難しいです。	それはできません。
2時 <u>ぐらい</u> に来てください。	2時に来てください。
<u>なるべく早め</u> にしてください。	明日の1時までにはしてください。
<u>定期的に</u> 確認してください。	3時間に1回確かめてください。
外国人「これ、使いますか。」 日本人「 <u>いいです</u> 。(No)」	外国人「これ、使いますか。」 日本人「いいえ、使いません。」

④二重否定の表現を避ける。

「～ないことはない」、「～ないわけではない」、「～以外は必要ない」などの二重否定の表現は、混乱を招きやすいため、使用を避けます。

通常の日本語	やさしい日本語
食べられ <u>ない</u> ことは <u>ない</u> です。	苦手ですが、食べることができます。
英語が話せ <u>ない</u> わけでは <u>ない</u> です。	英語を少し話すことができます。
缶 <u>以外</u> は捨て <u>ない</u> てください。	缶だけ捨ててください。

⑤文末の表現をなるべく統一する。

一般的に、外国人は「です・ます」の形で日本語を学習しているため、カジュアルな表現よりも「です・ます」の表現に慣れています。

通常の日本語	やさしい日本語
時間通りに来ないと。	時間通りに来てください。
もう休憩した？	もう休憩しましたか。
それを取ってくれない？	それを取ってください。

一方で、丁寧な表現でも、敬語は難しいため、使用を避けます。

通常の日本語	やさしい日本語
ご覧になってください。	見てください。
どちらに住んでいらっしゃいますか？	どこに住んでいますか？

その他の様々な場面で伝わりやすい表現は以下のとおりです。

通常の日本語	やさしい日本語
<可能の表現> 食べられます。	食べることができます。
<不可能の表現> 食べられません。	食べることができません。
<指示の表現> 手を洗いましょう。	手を洗ってください。

また、文章は途中で終わらせず、最後まで言い切ります。

通常の日本語	やさしい日本語
手伝って欲しいんだけど…。	手伝ってください。
今はちょっと…。	今はできません。

日本語読解学習支援システム

リーディング チュウ太

日本語の語彙のレベルを調べるときに参考になるインターネットのサイトがあります。調べたい語を入力し、「語彙」を押すと、レベルがわかります。

使いたい言葉が外国人にとって難しい場合は、言い換えましょう！

<https://chuta.cegloc.tsukuba.ac.jp/>



4. 「やさしい日本語」のポイント（書く）

「やさしい日本語」でメールやウェブ上で情報を発信する際は、先ほどの「話す」ポイントに加えて以下のポイントも大切です。



1. 文は文節区切り、分かち書きにする。
2. 漢字の使用に注意して、ふりがなをつける。
3. 知っておいたほうがよい言葉は＜＞内に言葉の説明を併記する。
4. ローマ字の使用を避ける。
5. 時間や年月日の表記をわかりやすくする。
6. 外国人がわかりやすいフォントを使う。

①文は文節で区切り、分かち書きにする。

分かち書きとは、文節の間にスペースをあけて文章を書く方法です。児童書などでもよく見られる形式ですが、分かち書きにすることで、読みやすく、ひとつひとつの文節の意味も理解しやすくなります。

例1) ^{しごと}仕事の^{まえ}前に^{てあら}手洗いとうがいをしてください。

⇒ ^{しごと}仕事の ^{まえ}前に ^{てあら}手洗いと ^{うがい}うがいを ^{して}してくださ^いい。

例2) ^{やまだ}山田^{いま}さんは^{ひる}今^{はん}昼^たご飯を食べています。

⇒ ^{やまだ}山田^{いま}さんは ^{ひる}今 ^{はん}昼^たご飯を ^た食べています。

②漢字の使用に注意して、ふりがなをつける。

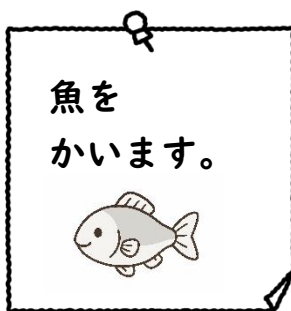
文章を書く際は、簡単な漢字を使い、文章中の漢字が多くなりすぎないように気をつけます。また、すべての漢字にふりがなをつけます。ふりがなのつけ方は以下のどちらの方法でも構いません。

例1) 紙^{かみ}に 名前^{なまえ}を 書^かいて ください。

例2) 紙(かみ)に 名前(なまえ)を 書(か)いて ください。

同じ発音でも意味が違う言葉の場合は、漢字を使うことで意味が伝わりやすくなります。

例) 魚^{さかな}を かいます。 ⇔ 魚^{さかな}を 買^かいます。



③知っておいたほうがよい言葉は<>内に言葉の説明を併記する。

難しい言葉であっても、災害時や業務などでよく使われるような言葉は知っておいたほうが良いため、そのままの言葉の後ろに説明を併記します。

例1) 地震が 来たら 避難所<逃げるところ>へ 行きます。

例2) 余震<あとから 発生する地震>に 気をつけてください。

④ローマ字の使用を避ける。

ローマ字は、駅名や地名などの固有名詞の表記には使えますが、文を書くには適していません。また、ローマ字の読み方のルールを知らない外国人は、日本語の発音どおりに読むことが難しいため、ローマ字で日本語の文章を表記することは避けます。

○ 東京駅 ⇨ Tokyo Station

× ご飯を 食べます。⇨ Gohan wo tabemasu.

⑤時間や年月日の表記をわかりやすくする。

◆時間の表記◆

- ・24 時間ではなく、12 時間表記にします。
- ・「〇〇～〇〇」ではなく、「〇〇から〇〇まで」と書きます。

例1) 19時30分 ⇨ 午後^ご7時^じ30分^{ぶん}

例2) 10時～14時 ⇨ 午前^{ごぜん}10時^じから午後^ご2時^じまで

◆年月日の表記◆

- ・元号ではなく、西暦で表記します。
- ・スラッシュは使いません。

例1) 令和7年9月12日 ⇨ 2025年^{ねん}9月^{がつ}12日^{にち}

例2) 2025/09/12 ⇨ 2025年^{ねん}9月^{がつ}12日^{にち}

⑥外国人がわかりやすいフォントを使う

やさしい日本語で文章を書く際は、外国人が見やすい文字のフォントにも配慮する必要があります。様々なフォントの中で、UDフォントが推奨されています。UDフォントは誰にでもわかりやすい「ユニバーサルデザイン」の考え方に基づいて設計されたフォントです。UDフォントにも種類がありますが、その中で「UDデジタル教科書体」の文字が見分けやすく、読み間違いが少ないとされています。

	繋がる/離す	線が出る/出ない	はねる/はねない	形が異なる
創英角ポップ体	ふ	あ	た	令
明朝体	ふ	あ	た	令
UDデジタル教科書体	ふ	あ	た	令

5. 仕事におけるコミュニケーションの注意点



「わかりましたか？」では理解度が確認できない

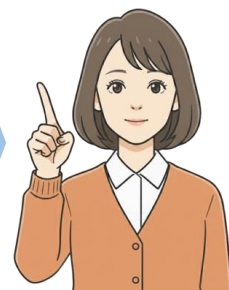
指示を出してから「わかりましたか？」と確認した際に、外国人が「わかりました。」と答えていても、実際には理解ができていないこともあります。

そのため、「この後、何をしますか。」と質問をして答えさせたり、指示の内容を復唱させたりすることで、指示の理解ができているかを確認することができます。

「〇〇できる？」はそのままでの意味で捉えられる

何かを依頼するときに「〇〇できる？」という表現を使うことがあります。日本人同士であれば「依頼」として受け取られますが、外国人は単に「能力の確認」をされていると理解することが多いです。

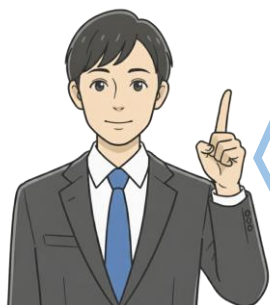
そのため、依頼する際は「〇〇できる？」ではなく、「〇〇してください。」と明確に伝えます。



報告・連絡・相談の指導は明確に行う

外国人が報告・連絡・相談を行わなかった際に、「次からちゃんと報告してね」と指導をすることがあるかと思いますが、「ちゃんと」の基準は人により異なるため、この表現では正確に伝わりません。

そのため、「どのような場面で、誰に、何を、どのように」伝えるべきかを丁寧に説明することが大切です。



6. おわりに

外国人が日本で就労や生活をするためには、本人達の語学学習や日本文化の理解といった努力が当然必要とされます。一方で、受け入れる側も完璧な日本語や文化統合を求めるのではなく、互いに歩み寄る姿勢が欠かせません。

外国人とコミュニケーションをとる際には、まず「やさしい日本語」を意識して話します。その上で、外国人ひとりひとりの日本語のレベルや、文化背景に合わせてコミュニケーション方法を工夫することが必要になります。

コミュニケーションの取り方や「やさしい日本語」に正解、不正解はありません。大切なことは、相手である「その人」をしっかりと見て、「その人」の習慣や考え、行動の理由を理解しようとする、そして、わかりやすいコミュニケーションを図るという思いやりの気持ちです。

本テキストが「優しい」気持ちと「易しい」言葉でコミュニケーションをとるための一助となれば幸いです。